

高 1 難関大英語 S

高 1 難関大英語



30章 形容詞・副詞

要点

■ 確認問題 1

解答

- (1) many a good
- (2) a good many
- (3) quite a few

■ 確認問題 2

解答

- (1) three fifths of the people
- (2) to none
- (3) a five-year-old child

■ 確認問題 3

解答

- (1) afraid は限定用法としては使えない。afraid → horrified ; frightened など。
- (2) 叙述用法において, natural は人を主語にすることができない。She was natural to do so. → It was natural for her to do so.
- (3) mere は叙述用法としては使えない。mere → small ; mere thing など。

■ 確認問題 4

解答

- (1) successive
- (2) Sensible ; economic

■ 確認問題 5

解答

- (1) 私は最近よく, 夜遅くまで働いているから本当に疲れている。
- (2) ほぼ1カ月もずっとこの書類を厳密に調査している。
- (3) 次の休暇が待ちきれない。

■ 確認問題 6

■ 解答

- (1) close enough to touch
- (2) seldom stop to enjoy
- (3) will be back here again

■ 確認問題 7

■ 解答

- (1) much
- (2) much
- (3) yet
- (4) he comes

問題

【1】

解答・解説

- (1) little「彼は重病で、回復の見込みはほとんどない。」〔hope は不可算名詞。文意から「ほとんどない」の意味の語を選ぶ。等位接続詞が and ではなく but の場合は a little の方が文脈に合う。〕
- (2) much「議長が遅れてきたので、我々にはあまり時間がなかった。」〔time は不可算名詞。文意から「あまり…ない」の意味の語を選ぶ。〕
- (3) many「彼は5日間で5冊の本を読んだ。」
○ as many「(それと) 同数の」 cf. as much ((それと) 同量の)
- (4) a little「食料が少しは残ってあればいいのだが。」〔food は不可算名詞。文意から「少しはある」の意味の語を選ぶ。口語の肯定文では、much を使うことはまれ。〕
- (5) few「私には話をする友達がほとんどいないので寂しい。」〔friends は可算名詞で複数形。文意から「ほとんどない」の意味の語を選ぶ。〕

【2】

解答・解説

- (1) (a) 彼女は小さな人形を1つ持っている。〔doll は可算名詞なので「量」を表す little では修飾できない。この場合は a little を「1つの小さな」の意味と考える。〕
(b) 彼女は少々お金を持っている。〔「量」を表す a little (不可算名詞を修飾する) で、肯定の意味になる。〕
- (2) (a) テストを受けた学生はほんのわずかだった。
○ only a few [little] 「ほんのわずかの」
(b) テストを受けた学生はかなり多かった。
○ quite a few [little] 「かなりの数〔量〕の」
- (3) (a) かなり多くの文学作品が刊行された。
○ a good [great] many 「かなり多くの」(複数扱い)
(b) 多くの優れた文学作品が刊行された。
○ many a + 単数名詞 「多くの」(単数扱い)

【3】

解答・解説

- (1) At first
○ at first 「最初は」 cf. first (of all) (まず最初に)
- (2) second, none
○ second to none 「誰にも負けない」
- (3) one, a half
○ one and a half years 「1年半」 (= one year and a half)

- (4) Three-fourths [quarters] [分数は分子に基数詞, 分母に序数詞を用い, 分子が2以上の時は分母の序数詞を複数形にする。]

【4】

解答・解説

- (1) Thousands 「何千人もの人々がその美術館を訪れた。」 [thousand は漠然と多数を表す場合は複数形になり, of を伴う。]
- (2) ten-year-old 「ベティーは10歳の女の子です。」 [「～歳の…」と他の名詞を修飾する場合, - (ハイフン) を用いて year は単数形になる。]
- (3) sixties 「彼らの中には60代の人もいた。」 [年代を表す場合は, 10の位の数を複数形にする。]
- (4) second 「私たちの叔父は1日おきに私たちを訪れる。」 [every + 序数詞 + day = every + 基数詞 + days。]
- (5) was 「その村の半分は軍隊に焼き尽くされた。」 [half に続く名詞が単数形ならば単数扱い, 複数形ならば複数扱いになる。]

【5】

解答・解説

- (1) (a) 今日彼女は大変具合がよいようだ。 [well = 形容詞]
(b) 今日彼女は大変上手に歌う。 [well = 副詞]
- (2) (a) 今朝はかなり気分がよい。 [pretty = 副詞]
(b) きれいに (着物を替え, 化粧などを) して来なさい。 [pretty = 形容詞]
○ make ~ … (=形容詞) 「～を…の状態にさせる」

【6】

解答・解説

[-ly がついて意味の変わる副詞]

- (1) hard, hardly 「彼女は彼に一生懸命 (hard) 勉強するように言ったが, 彼はほとんど (hardly) 彼女の言うことを聞かなかった。」
- (2) late, lately 「遅刻して (late) 来る学生の数は最近 (lately) 増えている。」
- (3) highly 「この本は非常に面白い。」
- (4) nearly 「彼はあやうく少女の足を踏みつけるところだった。」
- (5) closely 「彼らは休み中, 詳しく勉強した。」
○ closely 「① ぴったりと ② 綿密に, 詳しく ③ 親密に」

【7】

解答・解説

- (1) Much [句を修飾する場合は much。]
- (2) Here you are [Here it is] [人に物を渡す時「さあどうぞ。」という意味の慣用表現。]

(3) Here, are

○ Here we are. 「① (我々の欲しかった物が) さあここにありますよ。② (目的地に) さあ着きました。」

(4) neither [nor] could

○ 否定文, neither [nor] V S 「Sもまた…ない」

(5) they do

○ 肯定文, so S V 「Sはその通りだ。」〔会話における同意の表現。〕

【8】

解答

〔部分否定〕

(1) 大きいものがよいとは限らない。

(2) 最もよいものが最も高価だとは限らない。

添削課題

解答・解説

- (1) small 「彼の収入は少なすぎて家族を養うことはできなかった。」〔income の数量形容詞は large か small を用いる。〕
- too ~ to do 「非常に～なので…できない」
- (2) high 「その武器の値段は高すぎた。」〔price の数量形容詞は high か low を用いる。〕
- (3) large 「東京とメキシコシティは両方とも人口が多い。」〔population の数量形容詞は large か small を用いる。〕
- (4) ever 「いつか日本に来たら、私に会いに来てください。」〔条件文で「いつか」という意味を表す場合は ever を用いる。〕
- (5) either 「私は彼を好きではないし、彼の弟も好きではない。」〔either は「(～も) また(…ない)」という意味で否定文に用いる。〕
- (6) sensible 「私たちの助言を受け入れるとは彼女は分別があった。」
- sensitive (to ~) 「(～に) 敏感な」
 - sensible 「分別のある」 < sense
- (7) imaginative 「その作家は大変想像力が豊かである。」
- imaginable 「想像できる」
 - imaginary 「想像上の」
 - imaginative 「想像力の豊かな」 < imagine
- (8) economical 「この車はあの車よりずっと経済的である。」
- economic 「経済の」
 - economical 「経済的な」 < economy
- (9) successive 「3日連続して雪が降った。」
- successive 「連続した」 < success
 - successful 「成功した」

31章 前置詞

要点

■ 確認問題 1

解答

- (1) マイクは空港で彼女の両親を見つけた。
- (2) 昨夜学校で火事が発生したので、アレックスがパトカーでそこに駆けつけた。
- (3) 私は9月13日に中国に到着した。

■ 確認問題 2

解答

- (1) 私たちは結果を全く気にせずそれをやった。
- (2) 名古屋と東京はその高速道路によって結ばれている。
- (3) その空港は霧のため閉鎖されていた。

問題

【1】

解答・解説

- (1) at (それは正午に爆発するように仕掛けられた。) [at は時刻・年齢などの時の1点を表す。] *e.g. at the age of sixteen* (16歳の時に)
○ explode 「爆発する」
- (2) in (私たちは朝早く出発した。) [in は午前・午後・週・月・季節・年など at よりも長い期間を表す。] *e.g. in February* (2月に), *in (the) winter* (冬に), *in 1945* (1945年に)
○ set out 「(旅などに) 出発する」
- (3) on (私は7月14日に生まれた人を3人知っている。) [on は特定の日時を表す。]
e.g. on Monday (月曜に)
- (4) on (それは3月10日の朝に起こった。) [morning, afternoon, evening, night に修飾語がついている場合は on を用いる。] *e.g. on a cold night in February* (2月のある寒い夜)
- (5) during (泥棒は夜の間に入ってきた。) [during は「～(特定の期間)の間中, ~の間のいつかに」を表す。]
○ break in 「(無理やり) 建物に入ってくる」
- (6) for (2, 3時間部屋を空けただけだった。) [for は数詞などを伴って期間の長さを表す。]
- (7) in [現在を起点にして, 「今から～後に」は in を用いる。]
- (8) by (急行に乗れば, 7時までには帰宅できるだろう。) [by は「～までに(は)」と期限を表す。]
- (9) until (雪は翌朝まで溶けなかった。) [until は「～まで(ずっと)」と継続の終了時を表す。]
- (10) from (クリストファーはとても長い名前なので, 今後は彼をクリスと呼びます。) [from は時の起点を表す。]
○ from now on 「これからずっと, 続けて」
- (11) since (ジャズは日本では1960年代から人気がある。) [since は完了時制で用いられ, 「～以来」を表す。]

【2】

解答・解説

一般に、時を表す語句の前に next, last, this, one, any, each, every, some, all などがあつた時、前置詞は不要。

- (1) × (来週の金曜に会いましょう。)
(2) × (今度の土曜は空いてない。)

- (3) × (何時に始まるのか教えて。) [tell は節を目的語にとることができる。この場合、
「tell + 人 + 節」となる。したがって、前置詞は不要。]
- (4) on (試験は私の誕生日にある。) [my birthday は「特定の日」を表す。]
- (5) × (毎日トレーニングをしています。)
- (6) × (今日の夕方彼女は電話をかけた。)

【3】

解答・解説

- (1) at (私は今朝バス停でジャックを見かけた。) [at は地点と考えられるような比較的狭い場所を表す。]
- (2) in (その町には4軒のイタリアンレストランがあるとそのガイドブックには書いてある。) [in は内部や広がりを感じさせる比較的広い場所を表す。]
- (3) on (その男は彼女の頭を殴って逃げた。) [on は接触した表面を表す。]
- (4) for (列車は東京に向かって7時に名古屋を出た。)[「～に向かって」と方向を表す for。]
- leave A for B 「AからBへ向かう」
- (5) over (彼女は手で顔を覆って泣いた。) [over は「～を覆って」を表す。]
- (6) to (にわか雨にあって、ずぶ濡れになった。)[到達点を表す to。]
- be caught in a shower 「にわか雨にあう」
 - skin 「皮膚, 肌」
- (7) into [into は中への運動を表す。]
- (8) across
- across ~ 「～を横切って, 横断して」
- (9) above
- above ~ 「～よりも高い位置に」
 - above sea level 「海拔」
- (10) (a)round
- in a circle 「輪になって」
 - around ~ 「～の周りに」
- (11) through
- through ~ 「～を通り抜けて」
 - dirt 「汚物」

【4】

解答・解説

- (1) with, with (トムと京都に行く予定です。一緒に行きませんか。)[この場合の with は「～と一緒に」を意味する。]

(2) by:in (「バスで行くのですか。」「いいえ、トムの車でいきます。)」〔空所直後の bus が、無冠詞で交通手段を表すので、by を用いる。しかし、同じく交通手段を表す場合でも、その手段が限定されると by ではなく in になる。「私の車で」は in my car である。したがって、Tom's car と限定されているので、in が入る。〕

(3) to, on (イタリアにいる友達にこれを出したいんです。友達は税金を払わなければなりませんか。)〔post ~は「~を投函する」である。this は投函された結果、a friend in Italy に到達する。したがって、「到達」を表す to が正解。〕

○ duty 「税金」

(4) in (あなたがスーツを着ているのを見たことがない。)〔この in は「~を身につけて」と着用を意味する。〕

(5) to: to, of, to, on (「公立図書館にはどうやって行けばいいのでしょうか。」「この通りを突き当たりまで行って、右折してください。次の信号を左折したら、もう一度右折してください。そうすると、Brook Street に出て、左にその図書館が見えます。)」〔get to ~は、到着地の大小に関係なく「~に到着する」の意味で用いられる。reach ~も同様であるが、他動詞であるので前置詞は不要。〕

Ex. They *reached* the top of the mountain before sunrise.

(彼らは日の出前に山頂に着いた。)

「道路の突き当たり」は the end of the street。第3文目 This は前文に示された動作を表し、これによって you は Brook Street に「到着する」ので、to が入る。「右側に、左側に」を表す場合、on を用いる。〕

(6) with, in; out of (その男の子は両手をポケットに入れたまま、壁にもたれかかっていた。「手をポケットから出しなさい。」と父親が強い口調で言った。)〔付帯状況を表す with を用い、「両手をポケットに入れたまま」という意味であるから、in。彼の手が入っている his pockets から手を出すのであるから、out of が入る。〕

(7) by, on (この絵はピカソの絵です。向かい側の壁にもう1枚ピカソの絵がかかっています。)〔動作主を表すのは by。「反対側の壁に掛かっているピカソの絵」は「反対側の壁に接触しているピカソの絵」と考える。したがって、on を用いる。〕

【5】

解答・解説

(1) from [出身を表す from。]

(2) with [道具を表す with。]

(3) over [「~しながら」を意味する over。]

(4) for, against

○ for ~ 「~に賛成して」

○ against ~ 「~に反対して」

(5) at [「~めがけて」と目標を意味する at。]

(6) by

○ by the + 単位を表す名詞 「~単位で、~ぎめで」

- (7) for [「～にしては、～の割には」を意味する for。]
- (8) by [差を表す by。]
- (9) in [状態を表す in。]
 - be in trouble 「面倒なことになっている」
- (10) at [価格・値段を表す at。]
- (11) on [「～すると(すぐ)」と時間的近接を表す on。]

【6】

解答・解説

いずれも「付帯状況の with」の問題。

- (1) Don't talk [speak] with your mouth full.
- (2) The student came in with his eyes shining [sparkling].
- (3) I fell asleep with the TV (turned) on last night.

【7】

解答・解説

- (1) There is a man watching us from behind that fence.
 - from behind ～ 「～の後から」
- (2) We continued drinking until after midnight. (after を補充)
 - until after ～ 「～の後まで」
- (3) It is far from clear what she wants to eat.
 - far from ～ 「決して～でない」
- (4) Millions of lives are at risk because of food shortages. (of を補充) [because は接続詞, because of は前置詞として用いられる。]
 - millions of ～ 「何百万という～」
 - at risk 「危険にさらされて」
 - shortage 「不足」
- (5) There's a lot of good in him in spite of his rudeness.
 - in spite of ～ 「～にもかかわらず」
- (6) I need some advice as to which college to choose.
 - as to ～ 「～について」

【8】

解答・解説

- (1) for ○ for ages 「長い間」
- (2) of [this kind of art と同じ。]
- (3) to ○ get married to ～ 「～と結婚する」
- (4) out ○ find ～ out 「～ (= 事実・情報) を探り出す, 知る」
- (5) against ○ against ～ 「～に反対して」

- (6) at ○ at first 「最初は」
- (7) until [接続詞の until]
- (8) from ○ graduate from ～ 「～を卒業する」
- (9) out ○ talk ～ out of … 「～(=人)を説得して…をやめさせる」

全訳

クレア：こんにちは，チャド。ずいぶん久しぶりね。

チャド：やあ，クレア。君がこういった芸術に興味があるとは知らなかったよ。

クレア：興味があるどころか，むしろ大好きなの。

チャド：そう。ところで，君の妹のローラがスティーブと結婚するって聞いたんだけど。本当なの？

クレア：うん，でもそのことどうしてわかったの？

チャド：ピーターが教えてくれたんだよ。君たちのお父さんが結婚には最初は強く反対していたとも言っていたよ。お父さんはローラが大学を卒業するまで待つて欲しかったって。

クレア：そうなの。でも，ローラが父を脅かしてその考えをあきらめさせたわ。もし父が結婚にイエスと言ってくれないなら，自分とスティーブは駆け落ちするって言ったの。

添削課題

【1】

解答・解説

- (1) in (昨日論文を提出しました。)
○ hand in ~ 「~を提出する」
- (2) on (雨が降り始めたので、レインコートを着るべきですよ。)
○ put on ~ 「~を着る」〔衣類以外に帽子や靴、メガネなどにも用いる。〕
Ex. I have to *put on* my glasses when I go out.
(私は外出するときメガネをかけなければならない。)
- (3) on (この2着のスーツを試着したいのですが。)
○ would like to *do* 「…してみたい」
○ try on ~ 「試しに~を着てみる」
- (4) off (上着を脱いでゆっくりしたらどうですか。)
○ Why don't you *do*? 「…してはどうですか、…しませんか」〔提案、勧誘、忠告などを表す。〕
○ take off ~ 「~(=服・帽子・靴など)を脱ぐ、~(=メガネ・指輪など)を外す」
○ a while 「(短い)時間」
- (5) across (X氏は最近青山通りで偶然面白い本屋さんを見つけた。)
○ come across ~ 「偶然~を見つける」
○ recently 「最近、近ごろ」〔通例、過去時制か現在完了に用いられる。〕
- (6) to (テレビを見ている時にその考えが浮かんだ。)
○ come to ~ 「~(=人)に(考え、計画などが)浮かぶ、~に思いつく」
- (7) on (3番街でこのバスに乗って、ブロードウェイで降りてください。)
○ get on ~ 「~(=乗り物)に乗る」

【2】

解答・解説

- (1) kept on 「[~をし続ける]は keep on ~。」
- (2) looking forward to 「[~を楽しみに待つ]は look forward to ~。「彼女に会うことを楽しみにしています。」は I'm looking forward to seeing her. となる。to see her とはならないことに注意。〕
- (3) look over 「[~を点検する、~を調べる、~を読み直す]は look over ~。」
- (4) look up to 「[~を尊敬する]は look up to ~。respect ~と同じ意味。〕
- (5) down on 「[~を軽蔑する、~を見下す]は look down on ~であり、同じ意味の表現には despise ~がある。〕
- (6) run out of 「[~を使い果たす]は run out of ~であり、run short of ~は「~が足りなくなる」を意味する。〕

- (7) stand by [「～を支持し続ける, ～の味方をする」は stand by ～。「(～のそばに立って) 待機する」という意味でも用いられる。]
- (8) come by [「(努力して, やつとのことので) ～を手に入れる」は come by ～。]
- (9) do without [「～なしで済ませる」は do without ～。]

32章 譲歩

要点

■ 確認問題 1

解答

- (1) 肌の色が違って、人間は皆同じだ。
- (2) 彼は金持ちだったが、さらに多くの金を稼ぐのが好きだった。
- (3) お客様が悪かろうとなかろうと、あなたが彼女に謝るべきだった。

■ 確認問題 2

解答

- (1) 名詞節 私のかばんを見つけた人にはどなたでも報奨金を差し上げます。
※譲歩ではないことに注意。
- (2) 副詞節 あなたが誰であろうと、私の身に起こったことについては何も申し上げることはできない。
- (3) 副詞節 何が起ころうとも、あなたなら臨機応変に対応できる。

■ 確認問題 3

解答

- (1) 小型車の売り上げが大きく伸びているのにもかかわらず、自動車市場全体の売り上げは不振だ。
- (2) 不況が確かに私たちの購買習慣を変えたが、若者もまた変化した。
- (3) 君たちの両親が若かった頃は、皆ではないにしろ、かなり多くの人々が、車を持ちたがっていたものだ。

問題

【1】

解答

- (1) 確かに彼は最善をつくしたが、成功しなかった。
- (2) 彼女は努力したにも関わらず、十分報われなかった。
- (3) 遅くなったが、彼は勉強を続けた。
- (4) どんなことが起ころうとも、私は彼が正しいと証明するだろう。
- (5) 手伝いたいのだが、忙しくてできない。
- (6) 奇妙に思えるかもしれないが、私はインフルエンザの予防接種を受けるのを楽しみにしている。
- (7) 王室の夫妻がどこへ行こうとも、彼らを見ようと待ち受けている多くの人々がいる。
- (8) 現金で払おうとクレジットカードで払おうと、必ずレシートをもらってください。

【2】

解答・解説

- (1) 「たとえ敵が多くいるとしても、ビルは偉大な社長だ。」譲歩構文で最も頻繁に用いられるのが、even if S V (たとえSがVだとしても) という表現。
 - president 「社長」
- (2) 「どちらにしても私たちは全く同様の人生を過ごすというのは真実ではあるが、私たちの人生に対する考えは自分自身を誰と比較するかによって大きく変わり得る。」even though S V は、even if S V とほぼ同様の内容を表す。
 - either way 「どちらにしても」
- (3) 「5年かかるとしても、私はそれをするでしょう。」even if S V は、even が省略されてifだけでも譲歩の意味になることができる。
 - take A B (to do) 「A (=人) が (…するのに) B (=時間・労力など) かかる」
- (4) 「マイクは自分の赤ちゃんが笑っているのか、泣いているのかわからなかった。」本問のifは名詞節を導いて、「…するかどうか」という意味になる。名詞節と副詞節を見分けるには、主節の動詞が自動詞であるか他動詞であるかを手がかりするのがよい。
 - ※ tell ~は「~をわかる」という意味になることに注意。
- (5) 「好むと好まざるとにかかわらず、いつかあなたはケビンに顔を合わせなければならないだろう。」副詞節を作るwhether … or notは「…であろうとなかろうと」という意味になる。
- (6) 「座席が残されているかどうかは、わかりません。」whether … or notが名詞節を導く場合、名詞節を導くifと同様、「…するかどうか」という意味になる。
 - ※ whether とifは交換が可能だが、ifを導く名詞節が、①前置詞の後ろにある場合、②主語または補語になる場合などには、置き換えることができないので注意が必要。
 - there'll be any seats left は、any seats will be left に置き換えて考える。
 - It is doubtful whether … or not. 「…するかどうか疑わしい。」

【3】

解答・解説

- (1) 「彼は非常に勤勉だが、私は彼がその仕事にふさわしい人間だとはいまだに思わない。」
even if S V と並んで、It is true ~ but … (確かに～だが、…) もよく使われる譲歩表現。
○ hardworking 「勤勉な」
○ right (for ~を伴って) 「(～に) 適切な、ふさわしい」
- (2) 「私たちはすべてを注意深く計画したにもかかわらず、多くが悪い方向に進んだ。」
○ in spite of ~ 「～にもかかわらず」
- (3) 「編集者の約束にもかかわらず、1 カ月以上後になるまでそのスポーツ選手との対談は行われなかった。」
○ despite ~ 「～にもかかわらず」
- (4) 「彼には財産はあるけれども、幸せではない。」
○ with all ~ 「～にもかかわらず」
- (5) 「どんなに努力してもその少女の命は救えない。」
最上級は「～でさえも (= even)」の意味を含み、譲歩の意を表すことがある。

【4】

解答・解説

本問では、whatever, whenever, however などを用いた譲歩表現を扱っている。

- (1) whenever she was called on 「英語の授業中に指されて音読する時はいつも、彼女は独特の日本語なまりで話しさえした。」
○ call on ~ 「～に発言を求める」
○ whenever S V 「SがVする時はいつでも」
○ accent 「アクセント、なまり」
- (2) however brief it may be 「運転は複雑な仕事であり、集中力を欠けば、それがどんなに短い時間であっても、運転者が乗り物を制御することができないという結果になり得る。」
○ task 「仕事」
○ concentration 「集中 (力)」
○ however + 形容詞 [副詞] + S (may) V 「どんなに～であっても」 however it may be brief などにしないよう、語順に注意。
○ 譲歩を表す副詞節内に may が用いられることがある。
○ lack 「不足」
- (3) Whatever the reason for his greatness 「アインシュタインの偉大さの理由が何であれ、この決心がアインシュタインに新たな物理学を発見させ、他の誰もがあえて研究しようとはしなかった分野を探索したことは疑うべくもない。」
○ whatever … 「…が何であろうとも」
○ there is no doubt that … 「…は疑いない、きっと…するだろう」
○ greatness 「偉大さ」 < great *adj.*

- allow ~ to do 「～が…することを許す」
 - invest ~ 「～を發明する」
- (4) No matter how many times we have observed something happening 「ある特定の状況下で何かが起こるのを何度も観察しようとも、その状況が生じる度に同様のことが起きるだろうと完全に確信することはできない。」
- -ever は、no matter - で書き換えられ、同じ意味を表す。
Ex. Whoever said so, it is false. = No matter who said so, it is false.
 (たとえ誰がそう言ったにしても、それは嘘だ。)
 - observe ~ 「～を観察する」
 - absolutely 「完全に」本文は前出の cannot と結びついて、「完全に～というわけではない」という部分否定を表している。
 - every time S V 「SがVする度に」
- (5) Important as the interaction of science and technology is 「科学と技術との相互作用は重要ではあるが、先に提唱された方法の最も本質的な部分は第3の面、つまりその2つと社会との結びつきになるかもしれない。」‘形容詞 + as ~’ という見慣れない形だが、これも「～だけれども」という意味の譲歩表現。
- essential 「必須の、本質的な」
 - propose ~ 「～を提案する」
 - approach 「接近、接近〔研究〕方法」
 - aspect 「外観、局面、側面」
 - connection 「関係、つながり」

添削課題

【1】

解答・解説

- (1) as you may, you will find it impossible to give up that habit [動詞 + as [though] + S V 「…だけれども」 / find it ~ to do 「…するのは~だと思う (it は to do を受ける形式目的語) / give up 「(悪習などを) 捨てる, あきらめる」]
- (2) No matter whose child you may be [no matter + 疑問詞 + S + (may) … 「S が… (だろう) とも」 / 所有格の whose を用いる。]
- (3) However great a disaster she suffered she never gave up [however … 「いかに…でも」 [= no matter how …]]

【2】

解答

「全訳」下線部参照。

全訳

言葉は、考えられるありとあらゆる物事に適用できるように考案されている。この考案は素晴らしく、その組み合わせも多種多様ではあるものの、それでもなお限られた不完全なものである。

注

- application 「①申込みをすること ②応用すること ③効用, 妥当性」 < apply
- wonderful as this contrivance is 「この考案はすばらしいけれど」
- 補語 + as [though] + S V 「…だけれども」
- contrivance *n.* < contrive [this contrivance = language]
- numerous and varied as its combinations are 「その組み合わせは非常に多種多様ではあるけれども」

E1TS/E1T
高1 難関大英語 S
高1 難関大英語



会員番号	
------	--

氏名	
----	--

不許複製